

つなまち

Tsunan-Town

2010年10月20日発行

No.180

9月定例会：9/7～9/10

平成22年度 補正予算	②
陳情・意見書・議案	③
平成21年度 一般会計決算	④⑤
一般質問	⑥～⑪
シリーズ私もひと言	⑫

発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 吉野 徹
町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。

陳情、意見書

次の陳情が提出され、可決した陳情については、意見書を国の関係機関へ提出しました。

◎「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書提出に関する陳情

【内容】 今日、選択的夫婦別姓に関する国民的世論は分かれています。国民的合意には至っていません。婚姻制度や家族のあり方に極めて重大な影響を及ぼす「選択的夫婦別姓を認める民法の改正」に反対を求める陳情。

【結果】 賛成多数で可決し、意見書を提出しました。

◎「私立高校が学費を心配せず学べるように、学費軽減制度の抜本的拡充など私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する陳情

【内容】 授業料助成制度の実現など、私学助成の増額・拡充に努力されるよう要望する陳情。

【結果】 賛成多数で可決し、意見書を提出しました。



採決は記名投票により行われました

議員定数削減案を否決

議員定数を2名削減する議員発議の条例改正案が提出されましたが、反対多数で否決されました。

◎津南町議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】 津南町議会の議員の定数を定める条例中「16人」を「14人」に改める。議員定数については平成3年の改選でそれまでの定数22人から20人に削減。平成11年改選では18人、さらに平成19年改選で現在の16人に削減してきました。

削減に賛成の伊林議員ら4名が賛成討論に立ちました。討論では、「2007年以降の市町村で8割強の議会が削減してきている。当選ラインを上げ、広く町民の支持を得ることが必要。議員が特化すること365日議会となるべき時がきている。その第一歩としての定数削減だ。」と述べました。

また削減反対意見では大口議員、根津議員から「定数を減らしても機能低下はないというが、住民の声が届かなくなる。他の14人16人の議会と比べると津南町は面積が大変広く豪雪地でもある。16人が下げ止まりだと思おう。」などが出され、反対討論では乗原議員から「定数削減は議会の力を弱めることにならざるを得ない。議員が職責を果たしていないことと定数の問題は混同すべきではない。議会にはもつと若い人も女性の代表も必要。当選の票数が高くなればなるほど締め出してしまう。」と述べました。

【結果】 賛成5名、反対9名、無効1名で否決されました。このことにより、来年の町議会議員選挙はこれまでどおり定数16名で行われることになります。

平成22年度 一般会計補正予算 2号

一般会計予算に2,638万円を追加し、総額59億6,923万9千円とする補正予算が審議されました。

歳入	
分担金及び負担金	552千円
国庫支出金	2,884千円
県支出金	1,765千円
財産収入	199千円
繰越金	8,025千円
諸収入	854千円
町債	2,100千円

歳出	
総務費	3,537千円
民生費	1,004千円
衛生費	1,250千円
農林水産業費	5,707千円
商工費	1,092千円
土木費	3,100千円
消防費	550千円
教育費	1,472千円
災害復旧費	7,668千円

主な補正の内容

- 総務費
 - ・ 前町長退職記念品代
 - ・ 国際交流(中国内モンゴル・韓国)旅費
- 民生費
 - ・ 保育料通園費
- 衛生費
 - ・ 乳児医療費増
- 農林水産費
 - ・ 漬物加工施設改造
 - ・ ソバ、大豆用コンバイン購入
- 土木費
 - ・ 集落施設克雪対策助成
- 災害復旧費
 - ・ 集中豪雨災害復旧

特別会計補正予算

国民健康保険会計	病院事業会計
補正額 22,000千円	補正額 1,260千円
総額 1,106,071千円	総額 2,003,914千円



7月17日 集中豪雨による農地災害(足滝地内)

特別会計

【国保会計】

歳入……………11億3,881万円
 歳出……………11億 74万円
 差引額…………… 3,807万円

【介護保険会計】

歳入……………13億6,142万円
 歳出……………12億9,564万円
 差引額…………… 6,578万円

【老人保健会計】

歳入…………… 666万円
 歳出…………… 460万円
 差引額…………… 206万円

【後期高齢者医療会計】

歳入……………1億1,841万円
 歳出……………1億1,600万円
 差引額…………… 241万円

【下水道事業会計】

歳入…………… 5億1,952万円
 歳出…………… 4億9,928万円
 差引額…………… 2,024万円

【簡易水道会計】

歳入……………1億3,156万円
 歳出……………1億2,057万円
 差引額…………… 1,099万円

【農業集落排水事業会計】

歳入……………2億8,884万円
 歳出……………2億8,133万円
 差引額…………… 751万円

【津南病院事業会計】

平成21年度の決算は総収益19億7,212万円で前年度比5.91%の増となり、総事業費用は19億5,301万円で前年度比2.78%の増で差し引き1,911万円の当期純利益となった。医師確保が困難な状況にもかかわらず予防医学の取り組みで内科常勤医師を迎える等、医療体制の整備と患者サービスに努めた。患者数全体では100,854人で前年度より1,612人の減、うち入院患者数は33,705人で前年度より2,066人の増、外来患者数は67,149人で前年度比3,678人の減少となった。



介護保険料は少ない年金でも家族と同居なら標準額4,150円で、見直しの度に値上げだ。利用料も食費、居住費が全額自己負担で大変重い。共産党のアンケートでは、重い負担を理由にサービスの回数、時間を減らしている人がいるとの回答は76.2%、要介護認定の改善を望む声も寄せられている。特養入所待機者解消では、施設建設に対する国庫補助復活の声が高い。介護の実態をつかみ国へ抜本的制度見直しを求めていくことなしに町民の老後は守れない。

介護保険会計 反対討論

藤ノ木 浩子 議員

平成21年度

9会計決算を認定

21年度の主な成果(一般会計)

- 町づくり町民予算提案事業
佐平治翁顕彰事業、商店街観光看板設置事業
……………170万円
- 定額給付金給付事業(11,403人)
……………1億8,299万円
- 結東石垣田復旧支援事業
……………2,999万円
- 文化センターエレベーター新設工事
……………2,592万円
- 役場前障がい者用トイレ建設
……………441万円
- 耐震診断及び補強設計委託料
総合センター……………703万円
津南小、中津小……………1,613万円

一般会計

国の景気雇用対策事業により 歳入歳出とも大幅に増

本会議に平成21年度一般会計決算が上程され、決算総額歳入72億1,124万円、歳出69億6,146万円となり、収支差引残高2億4,978万円となりました。財政の健全化に関する法律により「健全化判断比率」の報告がなされ、当町において実質赤字比率は黒字のために無し、実質公債比率は9.6%(早期健全化基準25%財政再生基準35%)であり、健全な財政であると認め全員賛成で認定しました。

討論

一般会計賛成討論

藤ノ木 浩子 議員

国の景気雇用対策で国庫支出金が約5億円追加され、地方交付税も当初予算より4億円強の伸びで、31億3,500

0万円となった。要望されていた文化センターにエレベーター設置、障害者トイレの設置が実現。子どもの医療費助成が小卒まで拡大。雇用対策費2,500万円で27名が雇用された。病院継続を強く願う前小林町長は、病院運営費を1億5,000万円追加し、黒字決算に。また、国保会計への繰出しなど町民の暮らしを守る政治姿勢を評価する。



新設された役場前の障がい者用トイレ(完成後、議会で車イスに乗って使用検証)

観光振興による所得と雇用の増大について

町長・津南町の産業総てに及ぶものである

伊林 康男 議員

観光振興による経済的社会的波及効果は

問 観光産業の他産業への波及効果をどう捉えているか。

町長 観光振興で流入人口が増加することは本町の一次産業、二次、三次産業まで幅広い産業への経済波及効果がある。観光関連産業は勿論、農産物や特産品の直接販売額の増加や間接的に津南産品の購買層の増加等が図られ、観光業者の原材料の仕入れや、地元商店の販売額の増加などが期待できるものと考えられる。また観光施設整備に



笑顔がとびかうスキー場

より建設業界への経済波及効果もあり現時点において最も裾野の広い経済効果が期待できる。社会的、文化的効果であるが、地域社会や町民生活の活性化に役立つものであり、地域の明日を担う子供たちの資質の向上や柔軟な思考力の涵養につながるものと考えている。

マウンテンパーク津南の再生発展策は

問 全国的なスキー人口の激減により何処のスキー場も経営が窮地に陥っているが、再生発展に向けて今後の施策は。

町長 昭和40年に町民の強い思いで設立されたスキー場と認識している。存続の努力をしたと基本的には考えている。しかし、この運営には年間約四千万円程度の支援が必要であり、今後のリフト、ロッジの大規模改修、圧雪車の更新等多大な経費が予想される。今後の経営にあたり、スキー人口の減少やニーズの多様化等の面から、今後の入込み客の増加を大きく図ることは困難なものがある。入込み客の拡大策を含めた経営の見直し、検証を委託者を含めて、町もプロジェクトチームをつくり懸命に取り組んでいきたい。

水利権更新と占用料町村交付

町長・県に働きかけていきたい

福原 照男 議員

西大滝ダム水利権更新と流水占用料を町へ

問 東京電力西大滝ダム水利権更新への対応と流水占用料の地元自治体への還元はどうか。

町長 水利権は大正7年に許可、発電が開始され以来30年に1度更新がされてきた。今年12月31日3度目の更新となる。今現在東京電力からは申請はない。流水占用料は新潟県一般財源となっている。前町長時代にも訴えられてきた。流水占用料を流域市町村収入にするよう、関係市町村と共に県に働きかけていきたい。

子育て世代応援室設置とは

問 高齢者とふれあいのできる学童保育、子育て支援センターの充実と子育て世代応援室設置とはどのようなことか。若者が出会いから、結婚・出産・子育てといった家庭に希望をもてる子育て世代応援室でどうか。

町長 一元的・抜本的考えをする時期ではないか。子育ては子供のみでなく、



家庭的支援活動

幅広い世代を見ながら対応していきたい。

渡航費補助を

問 外国花嫁家族渡航費補助を新年度考えられないか。

町長 必要性については精査し、結論を出したい。

農業者も老いても補助金を

町長・リスクを伴うので受委託の推進を

根津 勝幸 議員

住宅改修方式で老いても補助を

問 当町農業も厳しい環境の中で苦しい立場に追い詰められている。現状の中で町長の言う地域内所得の向上を望めるのか。若い農業者には数々の支援策、優遇策があるが、50代以上には支援策がない。耕作機械などの購入に、住宅改修方式で補助ができないものか。

町長 米価が下がっていき現状の中では、生産者も生産コストの引き下げに努力していかなければならないのは当然である。農業機械の投資についてはコストの引き下げにつながる共同利用での投資が必要と考える。これらについては従前と同じように国県の補助事業を活用していただき、積極的に支援していきたい。町の財政も厳しい中、より有効な支援というものを考える必要はあると思う。農業機械の補助金を出したとしても、コストで吸収するということも逆な面に働くのではとの懸念も大きく抱く。むしろ、作業受委託の体制整備や体力に合わせて従事する農業というもので生きがいを持つていただき、老後の生活というものがより



中高年農業者にはなかなか厳しい農業機械施設の更新

鳥獣被害にはどうしても行政の力が必要

問 農家が夜中まで農場の管理をするには限界があり行政の力が必要である。

町長 熊については全戸配布、猿被害については上郷地区、秋成地区を対象にアンケート調査を行い、専門家により集計をしている。環境状況を総括し、具体的な対応策を構えて考えていく。

津南独自の認証制度とほどんな制度が

町長・食味を第一に消費者ニーズに合うものにした

大平 謙一 議員

町民所得の向上策の実行はどうか

問 基幹産業である農業、米余りは農家を不安にしている。町長はトップセールスマンとして先頭に立って農産物の販売にも力をいれるべきだ。また全国町村会などを通じて消費者に農家の立場を説明し理解を広げるべきと思う。町長の考えは。

町長 津南の認証農産物制度、野菜の市場外流通による直販システムに力を入れる。また認証制度を検討する部会を立ち上げ施策の充実を図る。良い提案があれば財政支援も視野に考えている。

問 第二次産業は途上国との賃金格差円高など苦戦している。また公共事業減少などで建築業も苦慮している。町の事業獲得策はどうか。

町長 県の土木費予算はピーク時の40%まで減少している。新規事業確保が難しい中だが住民の安全や財産を守る為の事業の必要性を強調した要望をする。

少子化、高齢化にどう取り組むのか

問 町は65歳以上が40%になるとうとしている。若者の定住は町の最優先課題。子育てしやすい町づくりに町長はどう取り組むのか。

町長 町民所得向上により人口減少の阻止、子育てしやすい町づくりは最大の課題と考えている。津南町は広大な農地があり農産物の加工等で付加価値販売の促進や住民要望の公共事業の導入、雇用の安定、若者の住みやすい住環境の確保、保育料の軽減、教育費助成など子育てに支援する。



笑顔も売る直接販売

若者定住対策を

町長..就業の場確保が一番、住環境だけでは難しい

藤ノ木 浩子 議員

長野県下條村と阿智村に学んで

問 人口4,200人の下條村は、若者住宅10棟、124戸、360人が住み人口を増やしている。子供の医療費無料化は高校生まで拡充し、保育料の軽減や子育て応援基金(4億円)の創設に取り組んでいる。阿智村は、人口7,000人、集落をいかに維持していくかを行政課題とし、役場職員が集落に入り、住民と一緒にその集落の目標と課題を考え、集落活性化に取り組んでいる。その一つが若者定住策で、新築増築、空家を取得する際に120万円支援する施策など実施している。両村の施策をどう受けとめ、町の施策をどう前進させるか伺う。

町長 両村が若者定住者を多く確保し、人口増にはすばらしい取り組みだ。若者定住には就業場所の確保が一番重要と考えており、津南町は住環境整備だけでは難しいと考える。両村長に会うので意見交換を考えている。来年ひまわり保育園裏の分譲整備をする予定。移住定住希望者中心に進めたい。

就学援助制度の拡充を

問 保護者に対し、制度の周知徹底をどう考えているのか。
教育長職務代理者 学校を通し周知しているが、今後保護者会や一日入学時に口頭説明する。チラシも他市町村等、参考に改善していく。

問 国は支給項目を3つ増やしたが、その周知と予算化を。
教育長職務代理者 12月補正で対応し、4月にさかのぼって支給する。学校や保護者にチラシで周知する。



2LDK=36,000円格安若者住宅(下条村)

地域医療、福祉を守る 人材育成に努力を

問 病院や介護施設は恒久的に人手不足である。学校教育での体験学習では介護・医療の現場へ希望する生徒は少ない。各現場の職員が学校に行き自信と誇りを持って実態を話し、将来の人材育成を考える機会にしていた、だいたいがいかがか。

町長 病院では看護職の確保が喫緊の課題。介護事業所はさらに厳しい状態である。学校だけでなく社会全体が役割を担い相互に協力し、若者を支えていくことが必要。幼児教育や義務教育の段階から体系的に取り組むことが必要である。町内中学校、中等教育校で積極的に取り組んでいる。

冬期集落安全、安心確保事業について

教育長職務代理者 学校と相談しながら取り組んでまいりたい。
病院事務長 そういう機会、場面が発生したらぜひ参加させてもらいたい。
問 冬期生活道路除雪、屋根雪の処理など町単での拡充ができないか、又高

津南町の将来を担うための人材育成を

町長..社会全体が若者を支えていくことが必要

栗原 洋子 議員



入所者にやさしく話かける中学生

齢者の冬期間入れる住宅の確保は。

町長 冬期保安要員の設置基準に準じてまいる考えである。玄関から道路までの除雪もままならない高齢者の声は、過疎集落のみならず中央でもある。地区の民生委員からもご協力頂き、さらなる検討を致したい。

福祉保健課長 高齢者の冬期間のアルバイトについて実態、要望を把握し十分検討したい。玄関先、屋根雪、落ちた雪の処理も補助対象ということで、民生委員さんの力を借りながら検討していきたい。

町財政と行財政改革をどう考えるか

町長..財政と経済の均衡が大事

大口 武 議員

津南町の経過は

問 信濃川中流域水環境改善検討協議会が設立して10年も経つがどこが改善されたのか。西大滝ダム水利権の更新日が近づいているが、東京電力との話し合いに近隣市町村との連携が必要ではないのか。

町長 津南町も協議会の委員になっており西大滝魚道構造検討会で協議中である。試験放流やモニタリング等調査結果を元に検討する。



濁水時は大河信濃川も死の川(西大滝ダム直下)

運営委託と景観の思いは

問 マウンテンパーク津南の運営委託を行っているが活性が見えない、荒廃しているリフト関係、駐車場、施設の老朽化等、観光教育共に逆行しているように思えるが今後の方向は?



これでいいのか駅前のリフト乗り場

町長 好ましい状態ではないが津南町全体の印象が悪くなったとは思えない。プロジェクトチームを立ち上げ、一年間をめどに抜本的な検証、検討作業を進めたい。

健全な行財政運営と産業振興のバランスをどうとるか

問 町財政は健全とされており、健全財政は保たれるべきと考えるがどうか。
町長 町財政力指数は0.3前後で町村の平均的な数値であり経常収支比率は81・7で類似団体に比べ低い水準だ。住民生活に直接かわかる施策、産業振興のための施策は引き続き実施しなければならぬ。その財源には既存事業の見直しを行い、義務的経費の削減に努め、諸課題に柔軟な対応ができる財政構造にしていく。健全財政に努めることは当然だが財政が健全であっても経済が不健全ではなんにもならない。均衡ある財政と経済を念頭に町政を執行したい。

問 建設事業従事者数は半減、町の普通建設事業費は4分の1に激減しているが、今後の公共事業をどのように考えるか。
町長 国県に対して町は公共事業が必要な箇所が多く、その必要性を強調し、取り組みたい。町の事業は町道改良や町営住宅改築、耐震構造化事業などを計画的に着実に進めたい。

平成21年県内近隣市町村別ラスパイレス指数等の状況

団体名	ラスパイレス指数	平均年齢	平均給与月額
聖籠町	95.9	41.9	365,219
田上町	95.0	41.6	360,539
十日町市	94.4	43.2	405,203
刈羽村	93.6	40.7	368,562
弥彦村	92.8	42.8	356,847
湯沢町	91.2	44.4	350,669
出雲崎町	91.1	40.9	352,963
川口町	90.9	39.8	326,411
阿賀町	90.4	40.8	365,067
津南町	89.1	46.8	352,887
関川村	87.9	42.3	328,209
粟島浦村	75.4	47.8	303,286

問 町職員の給与ベースをどう考えるか。
町長 ラスパイレス指数は県内で下から4番目である。職員は職務に真摯で懸命だ。現在、給与を下げる考えはない。
ラスパイレス指数：国家公務員執行の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

津南農業の振興策、海外進出は

町長.. 中国との交流のなかで県も入れて検討したい

藤木 正喜 議員

CASの冷凍保存で付加価値を

問 米の10年産の需要と供給のバランスは、需要805万トンに対して過剰米28万トン、09年産全農保有分30万トン、合わせて58万トンが過剰米と予想されている。今年度のコシヒカリ60kgあたりの仮渡金が16,500円と決定した。今後海外への米輸出も視野に入れるべきではないか。

町長 全くそう思っている。内モンゴルに早く行って物産の総取引を県も入れて検討したい。

問 CASという全く新しい冷凍保存方法があり、島根県海士町(あま)ではCAS凍結センターを設置し、町興しに大きく貢献し人口増にもなっている。町でも雪下人參の長期出荷や枝豆の保存等々年間を通して農産物の加工・販売ができる可能性があるが検討してみているかどうか。

地域振興課長 CASがどのようなものか承知していないが、調べて検討したい。

自然エネルギーは環境と連携し、町のイメージアップにもなるが

問 県が小水力発電導入可能性調査委員会を立ち上げたが、町も申し込みをすべきではないか。

地域振興課長 町としても独自に調査をしているが、経済的に成り立つのが問題。

問 経済性の問題ではなく、自然エネルギーを使つての環境貢献を発信できる。津南をより良く知ってもらい、環境の面からも農産物への付加価値を高める事ができるが。

地域振興課長 経済性100%で判断しているわけではないが、県だけでなく国の予算を含め県と調整中である。

CAS:新しい凍結技術で細胞が破壊されず、解凍後に鮮度が生き生きしている。



6次産業化のトップバッター「かねさま蕎麦会」

温室効果ガスによる地球温暖化について考えは

町長.. 行政が主体的取り組むべき問題である

恩田 稔 議員

地球温暖化の影響と言われる集中豪雨に対する危機管理は万全か

問 日本全国で集中豪雨が発生し、大きな被害が出ている。幸いにも、津南町では過去、雨による大きな災害は発生していないが、安心はできない。高齢者への避難指示等については、防災計画書の内容で万全か。

町長 災害時は防災計画書に基づき万全の対応を図る。災害の情報、非難指示等については、防災無線が主になるが、それだけの対応では不十分であり、各地域の民生員の方と隣近所など、地域の協力が大変重要になる。

問 同様に信濃川の堤防も地域住民にとっては大変心配な問題である。最近では平成16年に被害が発生したが、今年のような集中豪雨にも耐えることができるか。今後の方針は。

町長 河川管理は国であっても、県であっても、安全を確保しなければならぬ。そのような不安を一日も早く取除くべく積極的に推進する。



地球温暖化、雨災害防止の決め手は森林整備

国の環境施策を積極的に取り入れ、雇用の創出につなげられないか

問 二酸化炭素の国内排出量取引制度の運用が開始されると思われるが、津南町において、森林の整備を推進し、美しい里山づくりができないか。

町長 木材の価格が低迷し、森林の手入れが低下していることは深刻である。しかし将来見直される時が来ると考えられる。有利な補助事業で進めたい。

赤谷台地はクマの放牧場と化した対策は

町長.. 議会終了後ただちに対策会議を開き最善を尽くす

滝沢 茂光 議員

動物保護の行き過ぎが問題

問 毎年のように繰り返される熊による農産物の被害は税務町民課の対応の甘さに起因していると考えられるが、対策を講じた。

税務町民課長 私どもは動物保護の立場であり、現在専門家によるアンケート調査中であり、その結果に基づき対策を講じた。

問 行き過ぎた保護で今日があると考えられる。バランスが大事だ。長期的にはアンケート調査も理解できるが、現状が大変な状況であり早急な対策が必要である。8月末までに出されたスリートコーン被害は熊による被害だけでも農家数17戸、47箇所、193aの面積で被害総額は320万円に達した。開発畑を活用した粗飼料を自給する酪農、肉牛生産者のデントコーンは通常だと8月には侵入されないのに中旬から被害が拡大している。まさにこれからの実りを期待する時、さらに予想される被害の拡大をどう防ぐか対応は町に委ねられており、町長の腹一つにかかっているが町長の決断を求めたい。

町長 状況は理解した、議会終了後ただちに



ほぼ全滅のデントコーン畑に呆然(沖ノ原地内)

地域交流プロジェクトチームはできたのか

町長.. 早急に作り議論したい

大島 知美 議員

受け入れ農家がいなくなる

問 津南町もグリーンツーリズム推進室を設け取り組んできたが、今までの推移と問題点はあるか。

町長 本年度は、8校736名、しかし受け入れ農家は最大で45戸程度。現在の受け入れ人数が限界である。受け入れが4月、8月に集中する事から農家負担が大きい。

問 来町校の中で常連校はあるか。

地域振興課長 3年連続・2校、2年連続・2校、町には親御さんより、「子供の教育のために非常に良かった」という手紙がきている。

問 7月議会で三箇地区の取り組みの中で、交流体験のプロジェクトチームを作るという答弁があったが進んでいないか。

総務課長 8月に担当課長と話し合っただが進んでいない。

問 三箇地区の深い交流についてどう思うか。

町長 今行われているのはボランティア。そのボランティアに頼っているのではいつまでやれるのか考えなければ



有機農業ではこんな事もあります

シリーズ・町民の声 **私もひと言**



縁の下の力持ちに万歳!



正面
涌井 慶子さん

中越地震に続いての平成18年の豪雪が私にとっての最大降雪量でした。あの豪雪を乗り越えることができたのは、津南町の除雪体制のすばらしさと、その技術の高さだと確信しています。業者に委託しているだけでなく、町でも除雪体制があり、他県や隣接した市町村に比べ対応が早いです。長岡市に嫁いだ知人が、長岡市の方が降雪量が少ないのに、道路除雪がされてなく渋滞し、大変だったと話していました。私の出身地の横浜では、10センチの降雪で交通が麻痺し

ます。やはり津南町は、苦勞した分、強くたくましいです。毎日、必ず降る雪。あたりまえのように夜中から除雪し、私たちを学校や仕事へ送り出してくれる縁の下の力持ち、そんな人たちが津南町にはいます。この町に住んでいても、気づきにくいのですが、除雪体制とその任務に携わる一人ひとりの技術力の高さは津南町の誇るべき一つです。縁の下の力持ち！除雪に携わる皆さん、毎年ご苦勞様です。これからもずっと津南町の冬を守ってください。

折り紙作り、それは奥深い世界…



船山新田
月岡 美樹さん

私はほぼ無趣味です。ですが、こんな私でも、熱中できることがあります。それは折り紙です。一枚の紙が様々な姿に変化することに魅了されてしまいました。作品を作ることになると、1時間や2時間はあっという間に過ぎてしまいます。作品が完成した時はとても嬉しく、自然と笑みがこぼれてしまいます。紙の素材や色、柄によっても同じ作品なのにできあがりの印象が全く違ってくるのも楽しみの一つです。私と折り紙の出会いは、娘が保育園から大事に持ち帰った四角箱でした。初めて見た私は興味津々で、構造を知りたくて丁寧に崩したところ、簡

単には元に戻せず、娘に怒られてしまいました。保育園で作り方を習得した当時4歳の娘に教えてもらいながら作ったことが忘れられません。娘が保育園でお世話になった先生方と一緒に過ごす折り紙教室が、私の折り紙に対する世界観を変えました。ユニット折紙という言葉も初めて知りました。16枚の紙で作る八角箱や30枚で作る桜玉。苦勞して作り上げた時は本当に嬉しくなりました。娘や先生方のお陰で、折り紙と出会うことができました。簡単なようで難しい折り紙。知れば知るほど奥深い世界。秋の夜長、折り紙の世界にどっぷりと浸りたいと思います。



神楽を熟演するこどもたち

津南の四季を考えるとこれから訪れる豪雪、嫌だな……。実は雪のおかげで津南町はどこより清涼な水で稲を育て安全な自他共に認められる、おいしい魚沼・津南米が生産される。雪は雪下人參の甘み、アスパラガスの柔らかさと甘みと野菜にも発揮する、また冬の雪まつりも地域の人がプラス志向にと考えたものだ。これからは関東、関西の子供達に親子でつくる雪像作りツアーで呼び込む時代。ひまわり広場の冬の活用等々。家族連れで賑わう宿泊施設が目につかぶ、仕掛けよう。(滝)

編集後記

